

ぐんま緑の県民基金事業
平成26～28年度 中間評価検証報告書

VI 資料集
(案)



平成29年8月
群馬県

【もくじ】

●	ぐんま緑の県民基金関係	
	【平成26年度】	……1
	・財源(ぐんま緑の県民基金)内訳	……1
	・使い道(ぐんま緑の県民基金事業)内訳	……1
	【平成27年度】	……2
	・財源(ぐんま緑の県民基金)内訳	……2
	・使い道(ぐんま緑の県民基金事業)内訳	……2
	【平成28年度】	……3
	・財源(ぐんま緑の県民基金)内訳	……3
	・使い道(ぐんま緑の県民基金事業)内訳	……3
	・ぐんま緑の県民基金	……4
	・ぐんま緑の県民基金の流れ	……4
	・平成26～28年度ぐんま緑の県民税収実績(県の税収等)	……5
	・ぐんま緑の県民基金運用実績(県から基金への積立)	……5
	・寄附金の一覧	……5
●	水源地域等の森林整備関係	
	・水源地域等の森林整備の事業内容	……6
	(ぐんま緑の県民基金水源地域等の森林整備事業実施要綱 別表)	
	・5年間の整備計画	……6
	・条件不利地森林整備事業イメージ	……7
	・水源林機能増進事業イメージ	……8
	・松くい虫被害地の再生事業イメージ	……9
	・水源地域等の森林整備の実施状況について	……10
●	森林ボランティア活動・森林環境教育の推進関係	
○	森林ボランティア活動の推進	……11
	・森林ボランティア支援センター	……11
	・モリノワ	……12
○	森林環境教育の推進	……12
●	市町村提案型事業関係	
	・市町村提案型事業実施報告	……13
	・アンケート結果による判定結果一覧表	……51
	・市町村提案型事業 市町村別 一覧	……52
	・市町村提案型事業の事業内容	……55
	(ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業補助金交付要綱 別表1)	

●	制度運営関係	
○	普及啓発56
	・ポスター・リーフレットによる普及啓発56
	・広報媒体を利用した普及啓発57
	・出前講座・市町村説明会・地元説明会57
	・バスツアー58
	・バスツアー参加者アンケート結果59
○	評価検証(評価検証委員会)62
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員【平成26年度】62
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成26年度】63
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員【平成27年度】65
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成27年度】66
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員【平成28年度】67
	・ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催状況【平成28年度】68
○	評価検証委員会の意見69
●	ぐんま緑の県民税の仕組み72

ぐんま緑の県民基金関係

【平成26年度】

財源（ぐんま緑の県民基金）内訳

			金額:千円	
区分	計画	実績		
財源	税収(ぐんま緑の県民基金税収相当額)	621,446	621,445	
	寄附金	1,000	299	
	運用益		12	
	合計	622,446	621,755	

※端数処理のため合計値は一致しません

使い道（ぐんま緑の県民基金事業）内訳

							金額:千円		
区分	事業内容	計画値	実績値	計画	実績	担当課			
水源地域等の森林整備					386,092	78,081			
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施	区域調査委託	970ha	940ha	322,196	53,810			
		実施調査委託	970ha	254ha					
		森林整備	360ha	—					
水源林機能増進	簡易水道等の上流部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進	区域調査委託	150ha	401ha	40,250	17,788			林政課
		実施調査委託	150ha	80ha					
		森林整備	50ha	—					
松くい虫被害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生	区域調査委託	50ha	162ha	22,766	6,156			
		実施調査委託	50ha	32ha					
		森林整備	10ha	—					
事務費	旅費、備品、消耗品費	—	—	880	328				
ボランティア活動・森林環境教育の推進					6,314	4,611			
ボランティア活動の推進	ボランティア情報の収集と提供、指導や森林整備器具の貸出など一体的なサポートを行う森林ボランティア支援センターを整備	森林ボランティア支援センター設置 HP運用開始	H27.4	H26.10	5,100	3,718			緑化 推進課
		取扱安全講習会	10回	11回 226名					
		森林整備器具の貸出し	—	47回					
森林環境教育の推進	森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者を育成	指導者育成カリキュラム作成 受講者募集	—	—	1,214	893			
		指導者養成講座	4回 20名認定	4回 29名認定					
市町村提案型事業	地域の実情に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援	①荒廃した里山・平地林の整備 ②貴重な自然環境の保護・保全 ③森林環境教育・普及啓発 ④森林の公有林化 ⑤独自提案事業	—	—	190,000	74,706			林政課
制度運営					40,040	37,309			
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施	納税通知書に同封するチラシの作成	—	—	1,848	834			税務課
		普及資料の(チラシ・ポスター等)作成	—	—	2,936	1,825		林政課	
		新聞広告 事業地等をバスで巡る 現地説明会	3紙 3回 (バス3台)	3紙 2回 (バス3台)					
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営	ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催	3回	3回	595	408			林政課
		事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林の状況を調査し、事業の効果を検証	20カ所	20カ所	663	663		
ぐんま緑の県民税導入経費	市町村において、納税通知書にチラシを同封することに伴い増加する郵便料金・封入費用の実費相当額及び賦課徴収に係る事務手続の増加に対する経費相当額を負担		35市町村	35市町村	33,998	33,578			税務課
合計					622,446	194,706			

※端数処理のため合計値は一致しません

【平成27年度】

財源（ぐんま緑の県民基金）内訳

金額：千円

区分	計画	実績
平成27年度税込(税込相当額)	811,473	819,833
寄附金	1,000	1,844
運用益	218	274
前年度基金残	427,049	427,049
合計	1,239,740	1,249,000

※端数処理のため合計値は一致しません

使い道（ぐんま緑の県民基金事業）内訳

金額：千円

区分	事業内容	平成26年度繰越			平成27年度				担当課		
		実績値	繰越額	実績額	計画値	実績値	計画額	実績額			
水源地域等の森林整備				220,781			647,608	239,858			
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林の間伐等を実施	区域調査委託	274ha	159,372	1,874ha	926ha	397,486	156,701	林政課		
		実施調査委託	167ha		1,039ha	247ha					
		森林整備	276ha		700ha	129ha					
水源林機能 増進	簡易水道等の上流部の森林で水源涵養機能等の低下が懸念される森林を整備し、水源涵養機能を増進	区域調査委託	—	220,790	45,803	397ha	561ha	198,843		60,054	
		実施調査委託	42ha		300ha	184ha					
		森林整備	88ha		165ha	50ha					
松くい虫被 害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹竹が繁茂した森林をコナラやスギなどの森林に再生	区域調査委託	—	15,606	15,606	45ha	105ha	50,399		22,794	
		実施調査委託	4ha		45ha	13ha					
		森林整備	11ha		20ha	9ha					
事務費	旅費、備品、消耗品費	—	—	—	—	—	880	309			
ボランティア活動・森林環境教育の推進							19,144	14,966			
森林ボラン ティア活動 の推進	森林ボランティア支援センターを運営し、ボランティア情報の収集・発信、安全指導や森林整備作業器具の貸出、ボランティア体験会などを実施	安全講習会	—	—	—	10回	8回	12,890	8,819	緑化 推進 課	
		ボランティア体験会	—	—	—	3回	3回				
		資機材の貸出し	—	—	—	—	71回				
森林環境教 育の推進	森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者を育成	指導者養成講座	—	—	—	13回	13回	6,254	6,147		
		フォローアップ研修	—	—	—	25名	36名				
市町村提案 型事業	地域の実情に合わせ市町村やボランティア団体等が取り組む事業を支援	—	89,675	71,237	—	—	270,000	165,524	林政課		
制度運営							3,638	2,499			
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を深めるため、税のしくみ、森林の役割や大切さの普及啓発活動を実施	普及資料(リーフレット)の作成	—	—	—	1万部	1万部	1,526	998		林政課
		事業地等をバスで巡る現地説明会	—	—	—	3回 (バス5台)	3回 (バス5台)				
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効果検証などを行う第三者機関を運営	ぐんま緑の県民税評価検証委員会開催	—	—	—	3回	3回	995	383		林政課
	事業の客観的な効果検証を行うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林の状況を調査し、事業の効果を検証	—	—	—	20カ所	20カ所	1,117	1,117	林業 試験 場	
計				310,465	292,018			940,390	422,847		
平成26年度繰越事業実績額 + 平成27年度実績額 = 平成27年度支出額								714,865 千円			

【平成28年度】

財源（ぐんま緑の県民基金）内訳

		金額:千円		
区分	計画	実績		
財源	平成28年度税込(税込相当額)	824,937	830,327	
	寄附金	1,000	450	
	運用益	207	195	
	諸収入	0	175	
	前年度基金残	535,523	535,523	
	合計	1,361,667	1,366,670	

※端数処理のため合計値は一致しません

使い道（ぐんま緑の県民基金事業）内訳

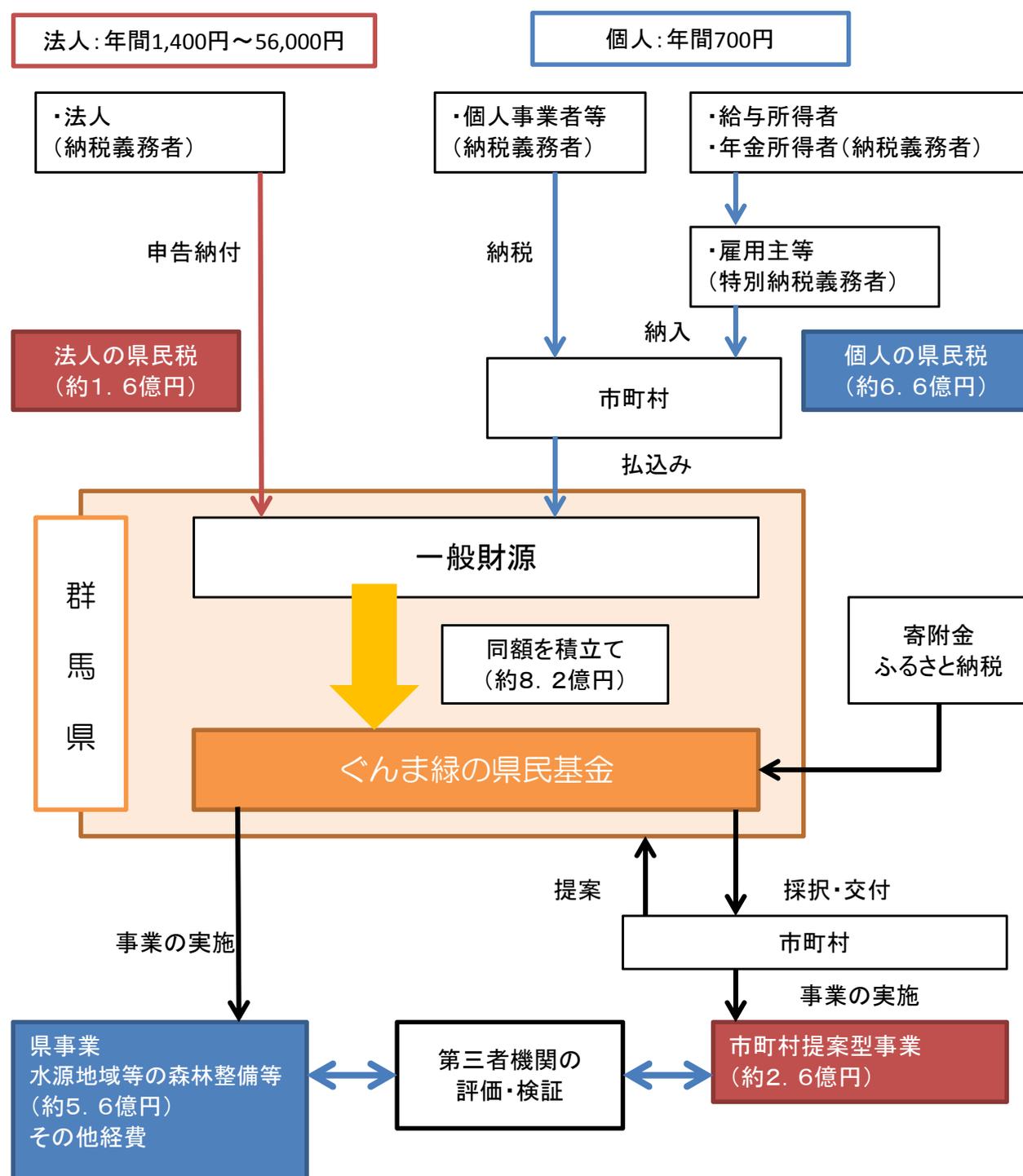
		金額:千円								担当課
区分	事業内容	平成27年度繰越			平成28年度					
		実績値	繰越額	実績額	計画値	実績値	計画額	実績額		
水源地域等の森林整備				404,293			553,141	305,425		林政課
条件不利地 森林整備	地理的、地形的な条件により 林業経営が成り立たず放置さ れている条件不利な森林の間 伐等を実施	区域調査委託	181ha	404,481	138,012	1,550ha	668ha	432,461	177,326	
		実施調査委託	398ha			800ha	225ha			
		森林整備	337ha			650ha	168ha			
水源林機能 増進	簡易水道等の上流部の森林で 水源涵養機能等の低下が懸念 される森林を整備し、水源涵養 機能を増進	区域調査委託	390ha	27,857	222ha	385ha	414ha	65,000	78,553	
		実施調査委託	354ha			100ha	87ha			
		森林整備	184ha							
松くい虫被 害地の再生	松くい虫被害木が放置され、笹 竹が繁茂した森林をコナラやス ギなどの森林に再生	区域調査委託	—	27,857	80ha	148ha	54,800	49,540		
		実施調査委託	—		40ha	42ha				
		森林整備	22ha		40ha	27ha				
事務費	旅費、備品、消耗品費		—	—	—	—	—	880	6	
ボランティア活動・森林環境教育の推進							14,016	12,937		緑化 推進 課
森林ボラン ティア活動 の推進	森林ボランティア支援センター を運営し、ボランティア情報の 収集・発信、安全指導や森林 整備作業器具の貸出、ボラン ティア体験会などを実施	安全講習会	—	—	10回	11回	7,730	6,796		
		ボランティア体験会	—		3回	5回				
		資機材の貸出し	—		—	77回				
森林環境教 育の推進	森林環境教育を推進するた め、専門知識を有した指導者 を育成	指導者養成講座	—	—	12回	12回	6,286	6,141		
		フォローアップ研修	—		25名	26名				
		3回	3回							
市町村提案 型事業	地域の実情に合わせ市町村や ボランティア団体等が取り組む 事業を支援		—	62,305	34,211	—	—	280,000	198,661	林政課
制度運営							3,741	2,948		
普及啓発	ぐんま緑の県民税への理解を 深めるため、税のしくみ、森林 の役割や大切さの普及啓発活 動を実施	普及資料(パンフレット) の作成	—	—	1万部	7千部	1,716	1,227		
		事業地等をバスで巡る 現地説明会	—		3回 (バス5台)	3回 (バス5台)				
評価検証	事業の内容検討・実績評価・効 果検証などを行う第三者機関 を運営	ぐんま緑の県民税 評価検証委員会開催	—	—	3回	2回	925	621	林政課	
	事業の客観的な効果検証を行 うために必要な調査・分析	間伐前と間伐後の森林 の状況を調査し、事業 の効果を検証	—	—	20カ所	20カ所	1,100	1,100	林業 試験 場	
計				466,786	438,504			850,898	519,972	
平成27年度繰越事業実績額 + 平成28年度実績額 = 平成28年度支出額								958,475 千円		

ぐんま緑の県民基金

○県民税はその使い道を特定されない普通税であるため、そのままではぐんま緑の県民税に相当する税収は、既存の県民税と区別できません。

そのため、「ぐんま緑の県民基金」を新たに設置し、ぐんま緑の県民税の税収に相当する額を積み立てます。その上で、毎年度必要となる額を基金から取り崩して森林環境を保全するための事業に充てることで、使い道の明確化を図ります。

ぐんま緑の県民基金の流れ（※金額は平年ベース）



平成26～28年度ぐんま緑の県民税収入実績（県の税収等）

（単位：円）

項目 \ 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
税収相当額	621,444,956	819,832,887	830,326,664	2,271,604,507
寄附金等	298,502	1,844,480	450,194	2,593,176
運用益	11,542	273,633	195,142	480,317
諸収入			175,000	175,000
合計	621,755,000	821,951,000	831,147,000	2,274,853,000

ぐんま緑の県民基金運用実績（県から基金への積立）

（単位：円）

年度 \ 項目	寄附金 A	税収 B	運用益 C	諸収入 D	取り崩し D	基金残高 E=A+B+C-D
平成26年度	298,502	621,444,956	11,542		194,706,267	427,048,733
平成27年度	1,844,480	819,832,887	273,633		713,476,923	535,522,810
平成28年度	450,194	830,326,664	195,142	175,000	959,863,169	406,806,641
合計	2,593,176	2,271,604,507	480,317	175,000	1,868,046,359	406,806,641

（H29. 5. 31時点）基金残高

寄附金の一覧

No.	件数	氏名	住所等	寄付額	備考
平成26年度	20	ふるさと納税等	埼玉県、県内等	298,502 円	
平成27年度	31	ふるさと納税等	東京都、埼玉県、 県内等	1,844,480 円	
平成28年度	8	ふるさと納税等	東京都、埼玉県、 県内等	450,194 円	
合計	59件			2,593,176 円	

● 水源地機等の森林整備関係

水源地機等の森林整備の事業内容（整備要件及び整備内容）

○水源地域等の森林整備事業の整備要件及び整備内容は次のとおりです。
※ぐんま緑の県民基金水源地域等の森林整備事業実施要綱別表より抜粋

事業区分	森林整備の要件	森林整備の内容
条件不利地 森林整備事業	<p>林業経営が成り立たない森林であって、次のすべての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人工林であること。 2 林道及び市町村道等からの距離が概ね200メートル以上の森林であること。 3 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。 4 過去15年以上森林整備が行われていない森林であること。 5 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。 6 県と森林所有者等により事業実施後10年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 原則として、本数率で35%以上の除伐、間伐 2 不成績造林地にあつては、広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、針広混交林へ誘導するための森林施業 3 伐採木の玉切り、集積 4 森林整備を実施する箇所までの幅員2m程度の簡易な作業路の開設
水源林機能 増進事業	<p>市町村が管理する簡易水道等の水源の森林であつて、次のすべての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小流域に取水口がありそれに依存する簡易水道等の集水区域の森林であること。 2 過密林であつて下層植生がないなどの森林整備が必要な森林であること。 3 森林経営計画認定森林でないこと。また、森林経営計画の作成が見込まれていない森林であること。 4 市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林であること。 5 県と森林所有者等により事業実施後10年間の皆伐及び転用の禁止、並びに公益的機能別施業森林の伐期までの伐採制限を定めた協定を締結することができる森林であること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 原則として、本数率で35%以上の除伐、間伐 2 不成績造林地であつて、広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、針広混交林へ誘導するための森林施業 3 伐採木の玉切り、集積 4 森林整備を実施する箇所までの幅員2m程度の簡易な作業路の開設
松くい虫被害地 の再生事業	<p>松くい虫被害地であつて公益的機能が低下し、森林の再生が必要な森林で、次のすべての要件を満たす森林であること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 松くい虫被害地の森林であること。 2 松くい虫被害木の割合が50%以上であること。 3 事業実施後保安林指定できる森林であること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 被害木等の伐倒、玉切り、集積 2 地拵え、植栽 3 下刈、獣害防止施設等の設置 4 広葉樹の生育があり、広葉樹の成林が見込まれる場合には、広葉樹林へ誘導するための森林施業 5 森林整備を実施する箇所までの幅員2m程度の簡易な作業路の開設

5年間の整備計画

○水源地域等の森林整備事業の5カ年（H26～H30）の整備計画は次のとおりです。

事業名	整備計画
条件不利地 森林整備事業	3, 500ha
水源林機能 増進事業	500ha
松くい虫被害地 の再生事業	200ha